

「元気で百歳」を目指して

六十周年おめでとうございます。先代からの長い年月、苦難の時も少なからずあつたと聞いておりますが、今、道東から北海道を代表する鶴雅として大きく羽ばたいておりますこと、輝いておりますこと、私たち取引を通してお付き合いいただいておりますものとしても大いに誇りに思います。

特に五十周年後のこの十年、平成十九年の網走「北天の丘」、二十年、屈斜路湖「ソラ」、二十二年の支笏湖「水の譚」、二十二年定山溪「森の譚」、二十三年、阿寒湖「阿寒ロッジ トウラノ」、二十四年「鶴雅ウイングス」、二十五年、ニセコ「空の抄」、二十六年「鶴雅ビュッフェディング札幌」がオープンしました。

このめざましい拡大、そして成長は、鶴雅さんの経営理念、「郷土力を磨き、地域とともに」のもと力強く歩んでおります。歴代の役員皆様のご苦勞の賜物でありますよう。

この先、百周年に向けて、大西社長の目指す時代の変化やニーズに対応し「百年ブランドの旅館」鶴雅グループを造られることを祈念いたします。

希さん、将仁さんには、若さいっぱいの活躍を特に期待しております。

そして私たち鶴ゆう会も、より一層頼れる存在になるよう努力することを誓います。

結びに五十周年の祝賀会の祝辞で、鶴ゆう会 中島守二元会長の「雅之社長、ツキアイヨスギル、カラダニキ

ヲツケロ」の言葉が忘れられません。

どうか、健康に留意して「元気で百歳」を目指し頑張ってください。



鶴雅グループ 鶴ゆう会 会長
株式会社 大丸渋谷商店 代表取締役会長

渋谷 直樹氏